



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2018-2019年度 鯖江ロータリークラブ

2018-19年度 国際ロータリーテーマ

インスピレーションに
なろう



第2887回
3/22(金)

3月第4例会

点鐘: 12:30

テーマ「エグゼクティブから学んだコミュニケーション術」
コミュニケーションマナーコンサルタント
卓話 齊藤 美幸 様

2018-19年度 第2650地区スローガン

ロータリーを学び、実践し、
発信しよう; Enjoy Rotary

第2888回
4/5(金)

4月第1例会

点鐘: 12:30

テーマ「夢を持つこと」
車いす陸上競技選手
卓話 伊藤 竜也 様



鯖江ロータリークラブ会長方針

和をもって貴しとする

会長 酒井 芳則

第2889回
4/12(金)

4月第2例会

点鐘: 12:30

テーマ「ころばぬ先の貯筋肉」
たかやなぎ整骨院院長
卓話 高柳 信也 様

3/22(金)

注: 3月29日(金)は、休会です

第2887回
例会報告

4つのテスト

出席率50.0%

鯖江商工会議所 3階中ホール

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 っ の テ ス ト
口 - タ リ - ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

ロータリーソング



「それでこそ
ロータリー」
佐野 直美
ソング副委員長

会長挨拶



酒井 芳則 会長
戦後の人口増加と成長
のもと、居住地域はいたる
ところに広がった。だが、人
口が減少する昨今、都市機
能や居住地域をコンパクト

にまとめる行政効率の良いまちづくり「コンパクトシ
ティ」政策が各地で進められています。多くの自治
体で巨費を投じられているものの、その効果になぜ
明確な「成功」の声は聞こえてこないのでしょうか。
コンパクトシティ政策の問題とは何か、富山市が
全国に先駆けて導入した次世代型路面電車、中心
街を循環するLRTの環状線は朝8時30分通勤の時
間帯だが、乗客は10名ほど。空席が目立つLRTは
目抜き通り、富山市ガラス美術館など、真新しい建
築が整然と連なって美しいジオラマのような風景
で、「コンパクトシティ」政策の賜物でした。国は

2006年、自治体が定める「中心市街地活性化基本
計画」のうち、認定した計画に交付金や税の特例を
適用する形で、自治体のコンパクトシティ化を支援
し始めましたが、昨年7月、総務省が行った「地域活
性化に関する行政評価」で、「中心市街地活性化基本
計画」は評価対象とした44計画のうち目標を達成
できた計画が「ゼロ」と判明。高市早苗総務相が、
関係省庁に改善を勧告する事態となっています。

青森県青森市では、コンパクトシティ化を見据え
た駅前再開発への投資が焦げ付いたことで、批判
にさらされていました。青森市は年間降雪量6.8m
(過去30年間の平均値)に達する世界有数の豪雪
都市です。積雪による交通網の麻痺や住宅損壊を
防ぐには、効率的に除雪ができる「集住」が合理的
です。青森市の除雪コストは年間30~40億円にも
上り、財政を圧迫していました。しかも郊外化によ
って年々、増加傾向にあったのです。市域を「インナー」
「ミッド」「アウター」の3エリアに区分し、インナーに
商業・行政・居住機能を集め、ミッドには居住・近隣
商業機能、アウターには農地・自然を配して宅地開
発や大型店の出店を規制する計画を立てました。
駅前には、公共投資によってシニア向け分譲マン
ションやホテルなどが次々と誕生し、老朽化した駅
前生鮮市場の再生事業として1980年代から計画
が進んでいた「アウガ」も、コンパクトシティ化の一
端を担う形で185億円をかけて2001年に開業し、
来館者数は年間600万人を超えるなど活況を呈し
ました。だが、売上は予想の半分以下に留まりま
した。駅前の複数の再開発プロジェクトと連携して
街全体を活性化させる計画だったんです。「アウガ」を
含む駅前の再開発エリアを中心に、まずインナーの
暮らしやすさを向上させ、除雪が困難になった郊外
のお年寄りに街中へ住み替えていただく。そして
お年寄りが移住して空き家になったミッドエリアの
住宅には、ファミリー世代の居住を促す。そうやって
少しずつ街を小さくしていく、まさにコンパクトシ
ティのイメージを描いていたのですが、計画は思惑通
りには進みませんでした。コンパクトシティの本質
は、中心街の活性化という小さい話じゃなく、いか

に人々が暮らしやすい街をつくるかということです。
数十年という長い時間を要するまちづくりの難し
さがそこにあります。青森市民の中には「街中には住
みたくない」という人もいます。「街中は家賃も駐車
場も高い、土地や家を買うなんてのもってのほか住
めるのは、お金がある人だけ。ふつうの年寄りには無
理。車があれば買い物にも困らないし、そもそも60
年以上暮らした場所を離れるなんて考えられない。
みんな住み慣れた場所で最後まで暮らしたいんだ
よ」市民にとって当たり前の感情です。街中に住む
「合理性」が見出せないかぎり、人はこれからも郊
外へと向かうでしょう。郊外から中心部への住み替
えはコンパクトシティ化の柱の一つですが、居住誘
導策は、憲法22条が認める「居住、移転の自由」への
介入との見方も可能であり、どの自治体も即効性
のある施策を打ち出せていません。それどころか、い
まなお「コンパクト」と反対の動きである市街地の拡
大は止まっていないという現状です。消滅する集落
がある一方、そのすぐそばに新しい住宅地が出現
するケースもあります。今後はすでにある社会資本
の有効利用によって「住民が付加価値の高い仕事
に就ける仕組み作りをするのが最優先」です。地域
に住む1人あたりの経済的な豊かさを実現すれば、
たとえ人口が減って行政サービスが行き届かなくな
っても、地域でお金を出し合っってコミュニティバ
スなどインフラを維持することもできます。物理的
に街をコンパクトにできない以上、地域の豊かさを
向上させる施策にもっと目を向けるべきです。

政府は2014年、都市を「都市機能誘導区域」と
「居住誘導区域」に分け、区域外の開発を抑制する
「立地適正化計画」の導入を決めました。先祖代々
からの土地や住み慣れた家から離れざるをえない
人も出てくるでしょう。自ら高いインフラコストを払
ってでも愛着のある土地に住み続ける「居住の自
由」を取るか、行政サービスの行き届く居住推奨地
区で集住するのか?政府の言う通り行っても成功す
る事例は少ないので、自主自立の行政が必要です。
選ばなければならない時代がすぐそこまで迫っ
ています。

コミュニケーションマナーコンサルタント

卓話

齊藤 美幸 様

テーマ「エグゼクティブから学んだコミュニケーション術」



卓話者 紹介

吉田 俊博 プログラム委員長

本日の卓話者は、齊藤美幸さんです。福井市のお生まれで、(株)TFSマナー&EDUCATIONを2018年2月9日に日本航空JAL出身の教官やCAの皆さんが中心となって企業教育研修をする法人として立ち上げられました。「エグゼクティブから学んだコミュニケーション術」をテーマにお話しいたします。



卓話者 齊藤 美幸 様

テーマ「エグゼクティブから学んだコミュニケーション術」

私は、福井市出身の齊藤美幸と申します。生まれも育ちも福井市で、現在も福井に在住しております。短大卒業後日本航空に入社し、国際線客室乗務員として32年間在籍しました。接客と人材育成を学んだ経験を基に、株式会社TFSマナー&EDUCATIONという研修会社を立ち上げ、現在は企業を対象にした研修や、個人事業主や経営者の皆様を対象にした講座・セミナーを開催しております。

近年コミュニケーションがうまく取れないというお悩みを抱える人が多くなっています。同じ職場で席を隣にしてもメールでやり取りするような時代です。部下が何を考えているのか、部下にどう接しているかわからない、という上司も多いのではないのでしょうか？

そこで、「エグゼクティブから学んだコミュニケーション術」というテーマでコミュニケーションについて考えたいと思います。コミュニケーションというと、うまく話すことが必要ととらえられがちです。うまく話すことが出来ればもちろんいいのですが、円滑なコミュニケーションのためにちょっとしたコツがあります。

それがこの4つのポイントです。

1つ目は「挨拶」です。

「あ」は明るく、「い」はいつでも、「さ」は先に、「つ」は続けて、と言われていています。ただすればいいというものではありません。

2つ目は、「笑顔」です。

笑顔は万国共通の言語と言われるように、男女、年齢、国籍を問わ



ず相手の心を開かせます。コミュニケーションにはまず相手に近づく必要があります。そのため笑顔は有効な武器になります。

3つ目は「ありがとう」です。

日本人はシャイな方が多く、感謝の気持ちを持ってはいるのですが、きちんと言葉に出して表現する事が苦手な方が多いです。特に役職が高くなればなるほど、「ありがとう」の言葉は聞かれなくなります。コミュニケーションの基本は相手に気持ちをきちんと伝えることです。恥ずかしがらずに、「ありがとう」を伝えて見ましょう。

4つ目は、「名前を呼ぶ」です。

これもなかなか馴染めない人が多いのではないのでしょうか？お友達同士なら普通に呼ぶことが出来る名前ですが、レストランの店員さんに名前で呼びかけることが出来ますか？CAの経験から、お客様から名前で呼びかけられると、実は嬉しいものなのです。名前を呼ぶという事は、相手に親近感と特別感を抱かせます。これもコミュニケーションには大切な要素なのです。

うまく話をすることがコミュニケーションではありません。エグゼクティブと言われる方はこれらをごく自然に実践しています。簡単なようで、実は気づいていない4つのポイントで、コミュニケーションの達人を目指してみませんか？



質問：声をかけられて、名前が浮かばないのですが、切り抜け方を教えてください。

答：間違った名前を言う事は大変失礼な事なので、名前を使わない事です。お話を重ねて行って、もしかするとお名前を思い出すかもしれませんし、思い出さない場合はあきらめてください。帰って、名刺など探していただき、次回お会いした時、必ずお声掛けをしてください。

質問：どちら様でしたかと聞くのは、失礼でしょうか？

答：関係性ですね、久々にお目にかかった方は有効ですが、親しい間柄では、病気を心配されそうですね。

質問：握手はエグゼクティブの人にしても良いですか？

答：握手は目上の人が先に手を出した時、相手が女性なら女性から手を出した時に握手をするのが礼儀です。

委員会報告

佐野 直美 出席委員長

出席委員会より本日の出席率を発表します。出席者数は20名で、47.6%となっております。以上です。



幹事報告

牧野 友美 幹事

地区大会の登録料がまだお済みでない方は会計コーナーまでお願いします。

特急「しらさぎ」の存続への署名ご協力をよろしく願います。



ガバナー公式訪問が7月12日(第2週)に決まりました。それに合わせて6月21日(金)はクラブ協議会を開催します。委員会報告を集めます。60周年実行委員会は、都合により中止となりました。

ここにBOX報告

酒井 芳則 会員 コミュニケーションコンサルタント齊藤さまの卓話を楽しみに、春らしくつしが出てもう少し桜が咲きますね

牧野 友美 会員 卓話に期待して

窪田 健一 会員 "

吉田 俊博 会員 "

野中 敏昭 会員 "

孝久 治宏 会員 早退します

齋藤 多久馬 会員 "

↓合同例会未掲載分です

野呂 和夫 会員 合同例会楽しみに

瀧谷 えみ子 会員 "

日本事務局からのお知らせ

2019年3月のレートは、1ドル＝110円です
(3月レート適用は、3月1日(金)以降に弊局口座へ着金対象)